岡三アセットマネジメント

情報提供用資料

ニッポン成長株オープン(愛称　一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称　一等星)

追加型投信／国内／株式

2017年9月21日

当ファンドでは、事業環境の変化等に対して強いリーダーシップをもって課題を克服し、持続的な成長を支えると期待されるオーナー経営者に着目し、有望と考えられる銘柄に投資しています。

1．オーナー経営者に注目

当ファンドにおける銘柄選別では、中長期的な利益成長が期待される企業を重視しています。持続的に成長している企業は技術力や販売力の高さなど企業固有の強みがあることに加え、多くの場合、優秀な経営者のリーダーシップに支えられていると考えています。そのため、当ファンドでは、経営力、特にオーナー経営者の手腕を重要な投資判断材料としています。

2．なぜ、オーナー経営者か？

（1）自身の事業に対してオーナーシップがある

優れた経営者には、現場で起きていることを自身の眼で見て、問題を確認したり、社員や取引先、顧客、株主といったステークホルダー(企業活動に関わる関係者)に対し、戦略や構想を自らの言葉で発信するといった、いわゆるハンズオン(自らが経営に深く関与する)型をとるケースが多く見受けられます。

これは、経営者自身が大株主であるため、自ら始めた事業に対して主体的に取り組む姿勢(オーナーシップ)が強いためと考えられます。

（2）オーナー経営企業の優位性と弱点

事業に対するオーナーシップと強いリーダーシップを持ったオーナー経営者は、経営判断の意思決定が迅速であることや、経営方針の一貫性が保たれ長期的な視野に立った経営が可能であること、経営者の責任で大きな事業リスクを取りやすいということなどが競合する企業の経営者に対する優位性と考えられます。

一方、オーナーが経営する企業の弱点としては、人事の停滞など組織の硬直化を招きやすいことや、後継者問題を抱えていることなどが考えられます。また、意思決定の迅速さの裏返しとして、意思決定が独善に陥るリスクも想定されます(図表1)。

（3）卓越した経営者の共通項

価値を生み出し、持続的に成長する企業を支える経営者の共通項として、①高い志があり、②好奇心旺盛であり、③根気強いことなどが挙げられますが、これらの共通項はオーナー経営者により強く見受けられると考えています。

3．当ファンドでの運用状況

人口動態の変化等に伴う価値観の移り変わりや、技術革新、経済のグローバル化など企業を取り巻く環境が変化している中、企業の変化適応力が一層問われる局面を迎えていると思われます。

当ファンドでは、事業環境の変化等に対して強いリーダーシップをもって課題を克服すると期待されるオーナー経営企業の株式に投資しています(図表2)。引き続き、経営力の高さなどから中長期的な利益成長が期待される銘柄の選別を通じてパフォーマンスの向上に努めてまいります。

（図表1）オーナー経営企業の主な特性

オーナー経営企業の優位性

- 迅速な意思決定が出来る
- 経営方針の一貫性が保たれる
- 長期的視野に立った経営が出来る
- 経営者の責任で大きなリスクをとることが出来る

オーナー経営企業の弱点

- 人事の停滞等による組織の硬直化
- 後継者として適切な人材を見つけにくい
- 意思決定が独善に陥るリスクがある

（図表2）オーナー経営の主な組入銘柄

銘柄名	代表者	役職	持株比率
スタートトゥデイ	前澤 友作	代表取締役社長	37.67 %
じげん	平尾 丈	代表取締役社長	22.22 %
あい　ホールディングス	佐々木 秀吉	代表取締役会長	19.44 %
ペプチドリーム	窪田 規一	代表取締役社長	10.09 %
プレステージ・インターナショナル	玉上 進一	代表取締役兼社長執行役員	2.78 %
シップヘルスケアホールディングス	古川 國久	代表取締役会長CEO	2.43 %
ティーケーピー	河野 貴輝	代表取締役社長	31.64 %
ＩＢＪ	石坂 茂	代表取締役社長	30.22 %
カヤック	柳澤 大輔	代表取締役CEO	26.36 %
トリドールホールディングス	粟田 貴也	代表取締役社長	31.77 %

※　ペプチドリームの窪田規一氏は2017年９月27日に開催予定の定時株主総会および取締役会における決定によって代表取締役会長に異動となる予定です。

※　保有銘柄は2017年9月19時点。

※　持株比率は発行済み株式総数に対する所有株式数の割合。各社の直近の有価証券報告書「大株主の状況」を基に岡三アセットマネジメント作成。

※　本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

岡三アセットマネジメント

情報提供用資料

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）
追加型投信／国内／株式

運用状況　（作成基準日：2017年9月19日）

設定来の基準価額の推移

※　上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※　設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
※　分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金（税引前）を当該分配金（税引前）が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。
※　グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	11,855円
純資産総額	7,695,642,410円
株式組入比率	95.2%
組入銘柄数	85銘柄

※　基準価額は1万口当たりです。

分配金実績

設定来累計	1,200円

※　分配金は1万口当たり（税引前）です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	小売業	15.2 %
2	サービス業	14.6 %
3	情報・通信業	12.1 %
4	電気機器	10.4 %
5	化学	7.4 %
6	機械	7.2 %
7	卸売業	6.1 %
8	医薬品	2.9 %
9	ガラス・土石製品	2.7 %
10	石油・石炭製品	2.6 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄ｺｰﾄﾞ	銘柄名	構成比
1	3092	スタートトゥデイ	4.9 %
2	3679	じげん	4.1 %
3	6516	山洋電気	3.5 %
4	3076	あい　ホールディングス	2.7 %
5	6134	富士機械製造	2.7 %
6	4587	ペプチドリーム	2.4 %
7	4290	プレステージ・インターナショナル	2.0 %
8	3360	シップヘルスケアホールディングス	1.9 %
9	6284	日精エー・エス・ビー機械	1.8 %
10	7970	信越ポリマー	1.7 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	1.5 %
東証1部中型株	13.4 %
東証1部小型株	55.0 %
東証2部	4.7 %
JASDAQ	3.2 %
東証マザーズ	17.4 %

※　業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
※　市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）　ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※ へ投資を行います。
  ※日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。

（作成：エクイティ運用部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社
岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞
■ 購入時
　購入時手数料　：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
　　詳しくは販売会社にご確認ください。
■ 換金時
　換 金 手 数 料　：ありません。
　信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞
■ 保有期間中
　運用管理費用（信託報酬）
　　：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
■ その他費用・手数料
　監査費用　　：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)
■ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
（金融商品取引業者）					
藍澤證券株式会社	関東財務局長（金商）第6号	○	○		
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長（金商）第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長（金商）第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長（金商）第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長（金商）第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長（金商）第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長（金商）第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長（金商）第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長（金商）第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長（金商）第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長（金商）第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長（金商）第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長（金商）第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長（金商）第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長（金商）第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長（金商）第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長（金商）第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長（金商）第12号	○		○	
リーディング証券株式会社	関東財務局長（金商）第78号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>
カスタマーサービス部　フリーダイヤル　**0120-048-214**　（9:00～17:00　土・日・祝祭日・当社休業日を除く）